

2011年以前の 国内学会

山野嘉久

HAM の疾患活動性バイオマーカーの同定と臨床経過との関連.

平成 23 年度厚生労働省科学研究費補助金 難知性疾患克服研究事業「HAM の新規バイオマーカー同定による重症度別治療指針の作成と病因細胞標的治療法の開発」平成 23 年度第 1 回班会議

2011 年 12 月 鹿児島

Araya N, Sato T, Utsunomiya A, Ando H, Yagishita N, Kannagi M, Tanaka Y, Yamano Y.
The molecular mechanism in the plasticity of HTLV-1 infected CD4+CD25+CCR4+ T-cells through HTLV-1 in HAM/TSP.

第 40 回日本免疫学会学術集会

2011 年 11 月 千葉

Sato T, Muto M, Araya N, Kojo S, Maekawa R, Utsunomiya A, Seino K, Yamano Y.
Frequency and functional significance of $\gamma\delta$ T cells in HTLV-1-infected individuals.

(HTLV-1 感染者におけるガンマデルタ T 細胞の頻度および機能的な重要性) .

第 40 回日本免疫学会学術集会

2011 年 11 月 千葉

Ishihara M., Araya N., Sato T., Utsunomiya A., Yamano Y., Nakamura Y., Nakagawa H., Ueda K.

Quantitative proteome profiling to identify biomarkers for Human T-lymphotropic virus type-1 associated disease.

第 70 回日本癌学会学術総会

Oct, 2011, Nagoya, Japan

内丸薫, 山野嘉久, 塚崎邦弘, 鶴池直邦, 宇都宮與, 濱田利久, 岩月啓氏, 渡邊俊樹.

成人 T 細胞白血病治療および HTLV-1 キャリア対応に関する全国調査.

第 73 回日本血液学会学術集会

2011 年 10 月 名古屋

新谷奈津美、佐藤知雄、安藤仁、八木下尚子、神奈木真理、田中勇悦、宇都宮與、山野嘉久.
HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) における HTLV-1 を介した病原性 T 細胞発生機構の解析

第 4 回 HTLV-1 研究会・合同班会議

2011 年 9 月 東京

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、八木下尚子、安藤仁、宇都宮與、出雲周二.

HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) の臨床病型：臨床経過と検査所見に基づいた分類

第 4 回 HTLV-1 研究会・合同班会議

2011 年 9 月 東京

佐藤知雄、武藤真人、新谷奈津美、八木下尚子、前川隆司、宇都宮與、神奈木真理、清野研一郎、山野嘉久.

HTLV-1 感染者に適用可能なガンマデルタ T 細胞療法の開発.

第 4 回 HTLV-1 研究会・合同班会議

2011 年 9 月 東京

澁谷美雪、岡寛、山野嘉久、長田賢一、西岡久寿樹.

線維筋痛症のストレスコーピングと症状マネジメント.

第 3 回日本線維筋痛症学会・学術集会

2011 年 9 月 横浜

臼井千恵、荒谷聡子、八木下尚子、西岡健弥、伊藤健司、山野嘉久、中島利博、西岡久寿樹.

ACR 予備基準 2010 の本邦での検証.

第 3 回日本線維筋痛症学会・学術集会

2011 年 9 月 横浜

八木下尚子、荒谷聡子、山野嘉久、西岡久寿樹、中島利博.

Locomo meets Metabo.

第 12 回運動器科学研究会

2011 年 9 月 高知

山野嘉久、佐藤知雄、外丸詩野、岡崎貴裕、永渕裕子、尾崎承一、清水潤、遊道和雄、岡寛、鈴木登.

再発性多発軟骨炎患者における血清中の可溶性 TREM-1 濃度の上昇.

第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会

2011 年 7 月 神戸

岡寛、山野嘉久、遊道和雄、清水潤、鈴木登.

再発性多発軟骨炎 31 例の患者の実態調査.

第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会

2011 年 7 月 神戸

八木下尚子、中島利博.

シノビオリンから見た関節リウマチの病態研究.

第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会カレントシンポジウム 「若手研究者が語るリウマチ性疾患の病態とシグナル伝達」

2011 年 7 月 神戸

八木下尚子、荒谷聡子、佐藤知雄、藤井亮爾、山野嘉久、西岡久寿樹、中島利博.

E3 ユビキチンリガーゼシノビオリンの線維化への関与.

第 55 回日本リウマチ学会総会・学術集会

2011 年 7 月 神戸

山野嘉久、新谷奈津美、佐藤知雄、中村龍文、森直樹、鈴木登.

HTLV-1 関連脊髄症(HAM)患者でのフコイダン療法によるウイルス量の減少.
第 52 回日本神経学会学術大会
2011 年 5 月 名古屋

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、中村龍文、森直樹、首藤紘一、宇都宮與.
HTLV-1 感染細胞を標的とした治療法の開発.
厚生労働省科学研究費補助金研究事業 2010 年度 HTLV-1 関連合同班会議
2011 年 2 月 東京

山野嘉久.
HAM の重症度別治療指針に資する疾患活動性バイオマーカーの有用性とステロイド治療による反応性.
免疫性神経疾患に関する調査研究班 平成 22 年度班会議
2011 年 1 月 東京

山野嘉久.
HAM における HTLV-1Tax によるヘルパー CD4+T 細胞の可塑的变化とその慢性炎症病変形成への関与.
免疫性神経疾患に関する調査研究班 平成 22 年度班会議
2011 年 1 月 東京

山野嘉久.
HAM の重症度別治療指針に資する疾患活動性バイオマーカーの有用性とステロイド治療による反応性.
厚生労働省科学研究費補助金難知性疾患克服研究事業「HAM の新規バイオマーカー同定による重症度別治療指針の作成と病因細胞標的治療法の開発」平成 22 年度第 2 回合同班会議
2011 年 1 月 鹿児島

新谷奈津美、佐藤知雄、安藤仁、宇都宮與、山野嘉久.
HTLV-1 関連脊髄症(HAM)における IFN- γ + CD4+CD25+CCR4+病原性 T 細胞発生の分子機構解析.
第 33 回日本分子生物学会年会
2010 年 12 月 神戸

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、安藤仁、神奈木真理、田中勇悦、宇都宮與.
HAM における IFN- γ + CD4+CD25+CCR4+病原性 T 細胞の発生機構とその脊髄炎症病巣へのリクルート機構に関する解析.
第 3 回 HTLV-1 研究会・合同班会議
2010 年 8 月 東京

佐藤知雄、阿座上和子、新谷奈津美、山野嘉久.
HTLV-1 関連疾患における invariant NKT 細胞の量的・機能的異常.
第 3 回 HTLV-1 研究会・合同班会議
2010 年 8 月 東京

新谷奈津美、佐藤知雄、神奈木真理、田中勇悦、宇都宮與、山野嘉久.
HTLV-関連脊髄症(HAM)における HTLV-1tax を介した IFN- γ + CD4+CD25+CCR4+病原性
T 細胞発生機構の解析.
第 3 回 HTLV-1 研究会・合同班会議
2010 年 8 月 東京

佐藤知雄、阿座上和子、新谷奈津美、山野嘉久.
HTLV-I 関連疾患における invariant NKT 細胞の量的・機能的異常.
第 6 回麒麟塾
2010 年 6 月 東京

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、鈴木登.
HAM における血中 sIL-2R と IP-10 のバイオマーカーとしての有用性.
第 51 回日本神経学会
2010 年 5 月 東京

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、鈴木登.
HAM における invariant NKT 細胞の量的・機能的異常.
第 22 回日本神経免疫学会
2010 年 3 月 東京

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、鈴木登.
HAM における血中 sIL-2R と IP-10 のバイオマーカーとしての有用性.
第 22 回日本神経免疫学会
2010 年 3 月 東京

山野嘉久.
ヒト T 細胞白血病ウイルス(HTLV-1)と制御性 T 細胞.
第 6 回宮崎サイエンスキャンプ
2010 年 2 月 宮崎

山野嘉久、新谷奈津美、佐藤知雄、竹之内徳博、齊藤峰輝、久保田龍二、中村龍文.
関東における HAM 専門外来と生体試料バンクの確立、および国主導型難病研究資源バンク
の紹介.
厚生労働科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)「HTLV- I の生体内感染拡大機序の解
明とその制御による HAM 治療法の開発」 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服事業)
「HTLV- I 関連脊椎症(HAM)患者データベースと検体バンクの確立による関東の研究拠点機
関形成」平成 21 年度合同班会議
2009 年 12 月 鹿児島

山野嘉久、新谷奈津美、佐藤知雄、宇都宮與、西岡久寿樹、中島利博.
Abnormally high levels of virus-infected IFN- γ +CCR4+CD4+CD25+ T cells in a
retrovirus-associated neuroinflammatory disorder/HTLV-1 関連脊髄症患者におけるウイル

ス感染した IFN- γ +CCR4+CD4+CD25+ T 細胞の異常な増加.
第 39 回日本免疫学会
2009 年 12 月 大阪

佐藤知雄, 阿座上和子, 新谷奈津美、山野嘉久.
The frequency of invariant NKT cells manifesting anti-HTLV-I activity is significantly decreased in patients with HTLV-I-associated disorders.
第 39 回日本免疫学会総会
2009 年 12 月 大阪

新谷奈津美、佐藤知雄、山野嘉久.
The molecular mechanism in the differentiation of IFN- γ +CCR4+CD4+CD25+Fox3low T-cells through HTLV-1 tax.
第 39 回日本免疫学会
2009 年 12 月 大阪

新谷奈津美、佐藤知雄、山野嘉久.
The reprogramming of CD4+CD25+ CCR4+Foxp3high regulatory T-cells by HTLV-1 tax.
第 32 回日本分子生物学会年会
2009 年 12 月 横浜

山野嘉久、澤智華、藤井亮爾、岡寛、渡邊修、有村公良、西岡久寿樹.
線維筋痛症患者における抗 VGKC 抗体の検討.
第 1 回日本線維筋痛症学会
2009 年 10 月 大阪

山野嘉久、中村龍文、久保田龍二、齋藤峰輝.
HAM 専門外来の有用性および検体バンクの確立による共同研究の推進.
第 2 回 HTLV-1 研究会
2009 年 8 月 東京

山野嘉久、新谷奈津美、佐藤知雄、宇都宮與.
HAM から同定された免疫性疾患を構成する病原性 T 細胞:IFN- γ +FoxP3lowCD4+CD25+CCR4+T 細胞.
第 2 回 HTLV-1 研究会
2009 年 8 月 東京

佐藤知雄, 阿座上和子, 新谷奈津美、高橋克典、宇都宮與、久保田龍二、山野嘉久.
HTLV-1 関連疾患における invariant NKT 細胞の量的・機能的異常.
第 2 回 HTLV-I 研究会
2009 年 8 月 東京

佐藤知雄, 新谷奈津美、山野嘉久.
HAM の疾患活動性血中バイオマーカーの同定およびステロイドの長期予後改善効果に関する

る検討.

第 2 回 HTLV-I 研究会

2009 年 8 月 東京

高橋克典、佐藤知雄、新谷奈津美、中村龍文、森直樹、山野嘉久.

HTLV-1 関連脊髄症(HAM)患者でのフコイダン療法によるウイルス量の減少.

第 2 回 HTLV-1 研究会

2009 年 8 月 東京

山野嘉久、佐藤知雄、新谷奈津美、長谷川大輔、高橋克典、西岡久寿樹.

HAM における血中 sIL-2R の治療効果指標有効性とステロイドの長期予後改善効果.

第 50 回日本神経学会総会

2009 年 5 月 仙台

山野嘉久、澤智華、藤井亮爾、岡寛、西岡久寿樹.

ギランバレー症候群後遺症として発症した線維筋痛症の 1 例.

第 53 回日本リウマチ学会総会

2009 年 4 月 東京

山野嘉久、新谷奈津美、佐藤知雄、宇都宮與、阿座上和子、長谷川大輔、中島利博、西岡久寿樹.

HAM におけるウイルス感染 CD4+CD25+CCR4+FoxP3low T 細胞の増加と機能異常.

第 21 回日本神経免疫学会学術集会

2009 年 3 月 大阪